

# 平成24年度 第21回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成24年11月14日(水) 16:20～

※ 開始時間が通常と異なります。

場所：理学部E210 講義室

講師：橋本 主税 先生

(JT生命誌研究館・主任研究員、大阪大学大学院理学研究科・教授)

演題：両生類における原腸形成運動の本質とは？

要旨：両生類の原腸形成過程の研究はもう一世紀にも渡って続いており、近年では分子生物学の知見の集積により、過去の実験発生学の諸問題が遺伝子レベルで解明されてきている。その発展に最も大きく貢献したのはツメガエルと分子生物学の相性の良さであろう。すなわち、イモリなどの発生現象をツメガエルの分子生物学によって解明してきたという図式がなりたつ。その前提には少なくとも両生類の発生過程は基本的に共通であるという認識が存在し、だからこそ、その実験に最も適している動物で解析した結果を統合して共通理解とするわけである。しかし、発生過程を丁寧に見てみると、どうも昔から教科書に書かれているような形態形成運動がツメガエルでは起きていないように見えることがある。ではツメガエルの形態形成運動は実際にはどのように進むのか？それは他の両生類種と質的に異なるのか？あるいはやはり共通な機構でなされているのか？という疑問が生じてくる。本セミナーでは、ツメガエルとアカハライモリを比較し、その原腸形成運動が互いにどう似ておりどう異なっているのかについての研究結果を紹介する。遺伝子や分子の難しい話はいっさい出てこないもので、学部学生にも理解できる内容である。ぜひ皆さんからの新鮮なコメントをたくさんいただけることを期待する。

《 本セミナーは、5研究科共同セミナー認定科目です 》

連絡先：坂本尚昭（理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線：7447）